

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2297100253	
法人名	社会福祉法人 県民厚生会	
事業所名	グループホームきらら浜松 (北ホーム)	
所在地	静岡県浜松市南区楊子町218	
自己評価作成日	令和4年10月31日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2019_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2297100253-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2019_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2297100253-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室	
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A	
訪問調査日	令和4年11月20日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

本年度は、正職員一人一人が担当する利用者様の生活歴を再度収集し、パーソンセンタードケアの実現に向けて『その人の望む暮らしって何だろう』『今まで大切にしてきたことって何』『叶えてあげてい事は何』など、職員の利用者様に対する思いを“ケース発表会”と題して発表してもらい、グループホームの職員全員で思いの共有を図りました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

野菜の水やりも心とむ習慣として定着し、サニーレタスや玉葱、サツマイモ、里芋など収穫の喜びを食卓で分かち合う日もあり、穏やかな暮らしが続く事業所です。新任の管理者は一職員としてこれまででもケアに従事してきており、利用者のことも職員のことも理解していて、外出の下見には休日をつかって積極的に安全確認に努める人柄で、またデイサービスなど他の種別も統括する施設長の存在も大きく、安心な体制にあります。平均介護度が3.9と重度化に向かいつつある中であっても、パーソンセンタードケアに基づくケース発表を試みたり、今後はユマニチュードの学習も積む予定で、利用者を見つめ傍らに寄り添う取組みが光ります。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念は誰もが見える所に掲示されています。その意義を職員全員で共有し、笑顔あふれるホッとする我が家をめざしています。また、令和4年度初めに理念の実践に向けた目標を各自が立て、達成度と振り返りの面談も実施しています	理念は掲示して、いつでも目に入るようにしています。また理念に基づいた年度の目標を作成して実践につなげるとともに、取組むための環境整備を管理者が考えたり、フィードバックの面接をおこなうなど、成果を高める支援があります。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍の中、今秋ようやく町内のお祭りが開催され、久しぶりに利用者様も参加し祭りを楽しむ姿が見られました。12月には子育て支援の交流も予定されている他、地域の防災訓練への参加も検討しています	地域との交流は途絶えていますが、この秋のお祭りには感染症対策を万全にして、お宮さんに出かけています。事業所と顔馴染みの皆さんが声をかけてくださり、また偶然にも兄弟に再会するサプライズもあり、皆大喜びの一日でした。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ禍の為、認知症の人の理解や支援の方法の発信は出来ていませんが、きらら祭りの開催や、地域貢献活動を通じて地域の方々へ貢献する姿勢を常に持っています。11月25日には利用者様と一緒に地域の草刈りへの参加も計画しています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	通常は2ヶ月に1度、コロナ禍に於いて開催を見送った月も文章等で報告・意見照会を行い議事録を作成しています。コロナ過で面会ができない中で写真送付など、会議でいただいた意見を活かせるようにしています	議事録は平均介護度、平均年齢、入退去数、行事報告のほか、収支や事業計画、利用者職員との状況に至るまで細かく掲載され、真摯に取り組んでいます。協議内容も熱がこもっており、事業所の誠意が会議を高めていることが覗えます。	議事録は、多くの事業所ができていない記述があることが特長ですが、1点「ヒヤリハットと事故」について加えることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	役所の方の運営推進委員会の参加が見送られることが多いため、日頃の疑問や介護保険のことなど、分からない事は随時区役所の担当者様に連絡してアドバイスして頂いています。	2ヶ月毎の運営推進会議では市役所の出席はまちまちなものの、コロナの感染拡大が著しかったときの書面開催では励ましの言葉とともに、貴重な助言も得られています。また管理者も新任のため、不明点は随時指導をもらえ助けられています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	委員会の設置の他、勉強会や資料配布により身体拘束が及ぼす影響を学んでいます。業務の中で、拘束だと感じたことは上司に報告・相談しています。玄関の施錠は日中に時間を決めて開錠しています。	委員会開催や研修など、決められた取組みを丁寧に実施していることは記録が物語っていますが、現場の不適切ケアについても職員で相互に見なおそうという意気込みがあり、管理者に上げられた案件は速やかに法人にも伝え、是正を図っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については委員会設置の他、何度も勉強や話し合いの場を持ち、動画視聴も行うなど、不適切を注意しあえる環境が大事であることを確認し合い、職員全員虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めています		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度の資料を配布するなどして、成年後見制度や日常生活自立支援事業について詳しく知る機会を持てるようにしています。詳しく知りたい場合は、DVDの貸し出しも準備しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項の説明を行い、少しでも不安な気持ちが解消されるように、丁寧に疑問に応えながら納得していただけるように対応しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に1回アンケートを実施し、結果はご家族に郵送してお知らせしています。玄関に意見箱を設置し、出来る限り利用者様、ご家族様からの要望とりたい、運営に反映させる努力をしています	「管理体制が整っていると思う。例えば職員の異動があっても大切なことは引き継がれている」「退院して戻ったとき、皆さんが「お帰なさい」と嬉しそうに大きな声で迎えてくれ感動した。涙がでるほど嬉しかった」等々、家族アンケートは絶賛の嵐です。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年1回の意向調査が実施され、意見を聞いてもらっています。また希望者には施設長と直接面談する機会も設けてもらっています	毎月全体会議とユニット会議が別日でおこなわれ、コロナ禍で縮小開催の事業所に比べ、職員間の情報交換は充実しています。何でも言い合える職員集団なことから、最近は休憩室の5Sと寛ぎスペースの創出にも実っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者会議や安全衛生委員会を中心に残業や有給の取得状況を確認し、就業環境整備に努めています。3施設の共同決定委員会が集まる際には、職員からの意見を提案しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本年度は正職員全員何らかの研修を受けるよう計画を立て、会議の場で他の職員にフィードバックするなどして、介護の質を高めるよう取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会の会員となり、同業者と交流する取り組みをしています。コロナ禍で集合研修は少ないもののリモート研修においても、グループワーク等で意見交換する機会があります。		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人・ご家族と話し合い、不安なことや希望を聞かせていただき、どの様にしたらご本人に安心していただけるか提案することで、信頼できる関係作りに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス導入前から出来るだけご本人・ご家族の要望を聞き、不安なく過ごせるケアプラン作成に繋げ、信頼関係を構築しています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入時、ご本人の発した言葉の真意を見極め、本当に必要とされるサービスを提供できるプランを作成・実践に繋げています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に食事を作ったり、買い物に出掛けるなど暮らしを共にする者同士の関係を築いています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本年度は新型コロナウイルスの影響もあり行えていない事もありますが、出来るだけ、ご家族にも行事参加していただいたり、面会等で本人と家族と一緒に過ごせる時間を作り、絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出・外泊の機会を持ち、近隣の祭りでは、身内の方に会いに行くなど、本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めています	天気がよければ戸外での面会もできますが、暑い寒いもあるため、北ホームと南ホームの各ユニットの間にある空間に椅子とテーブルを置き、簡易な面会所を備えています。緊急事態宣言では制限もありましたが、ひとまずは「会える」よう工夫しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	介護度や認知症によりトラブルになりそうなこともありますが、利用者同士の関係や性格を把握し、職員が関わることで、利用者様同士の良好な関係作りに努めています。		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス修了から数年経っても、近隣に住むご家族は経った今でも古新聞を持ってきてくださったり、知り合いの介護相談にみえて下さるなど、これまでの関係性を大切にしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本年度は担当職員が中心となり、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努める為、生活歴の収集から初めて、その方の“望む暮らし”や“叶えてあげたいこと”についてケース発表会を行いました。	思いや意向把握の一環として今年度は利用者本人の生活歴の洗い出しをおこなっています。その後、「(言葉にならない人は)こんなことしたいのじゃないか」「こうしたら飲むのではないかと、職員間で揉むことで利用者の理解につなげています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本年度は改めて生活歴を収集したことで、今まで知らなかった利用者様の新たな一面を知ることができ、一人ひとりの暮らしについて思いを馳せる事が出来ました		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の中で、一人ひとりの仕草や言葉などから、心身状態の把握に努め、生活のペースや出来ることを個人に合わせられるよう、ユニット会議で情報共有しています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の課題とケアの在り方をユニット会議で話し合い、生活に活かせるようなプランを提案させて頂き、本人・家族・担当職員や、必要な関係者と話し合い現状に即した計画を作成しています	介護計画書1表にある家族の意向欄には家族本人の直筆で思いが綴られており、「チームでつくる」への姿勢が垣間見えます。また2表のサービス内容の記述では残存能力を引き出したいたの思いが伝わるものが多くみられ、嬉しい限りです。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケース記録に記録し、カンファレンスにより問題点や望む暮らしとして職員間で話し合い。実践や介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様がやりたいと感じたことをどうしたら実現できるかを考え、実現することを喜び合える事業所・職員であるよう取り組んでいます		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍に於いても、日常を豊かに過ごせるよう、知人からの絵手紙と一緒に鑑賞したり、家族や知人の面会など、協力を得られる社会資源との関係を常に築いています。地域の活動行事に参加したり、12月には久しぶりに子育て支援の方のを受け入れていきま		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人及びご家族等の希望をもとに、かかりつけ医を決定し、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、月2回の往診の他、常に適切な医療を受けられるように支援しています。	訪問診療は2箇所先の医院にお願いしており、現在6名と12名のグループに分かれています。以前は診療に同席する家族もいましたが、今は無理なため管理者が責任をもって「往診記録」に書き込み、状態把握につなげています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護と契約し、24時間体制で連絡が取れるようになっていて、急ぐ場合などは他事業所の看護師に相談できるようになっています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	コロナ禍になってからは入院先に様子を見に行くことが出来ませんが、出来るだけ早期に情報収集し、早めの退院を相談するようにしています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化指針や見取りに関する指針について説明する他、状態の変化に合わせて、ご家族と話し合いを行い、事業所で出来ることと出来ない事を十分に説明しながら、グループホームらしい温かみのあるケアを提供するよう取り組んでいます。	契約時には事業所ができること、できないことを家族に説明のうえ、合意形成を図ってはいません。ただ人の考えは変わることもあるため、少しでも本人に変調があったときには医師の意見とともに確認をおこない、家族の気持ちをくみ取るように努めています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命処置の訓練やAEDの使用法を学び、利用者の急変や事故発生時に備えて、マニュアル・傷病者カードを作成し、緊急時に誰もが対応できる工夫をしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間の防災訓練の計画を立て、様々な想定による防災訓練を行っています。昨年度は職員のみでしたが、本年度は町内の防災訓練に委員や利用者様と参加し、地域の方とお互い協力し合える関係を築けるよう努めています、	防災訓練は10月と3月の実施と年間で定め、欠かさずおこなっています。以前には老人会の参加もありましたがコロナ禍で途絶えていたため、本年度は仕切り直しということで、町内の訓練への参加を果たしています。	

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念にもあるように一人ひとりの人生を大切に、思いを尊重し、「歩けますか?」「起きられますか?」のように自ら選んでいただけるような声掛けを心掛けています	取られ妄想が激しい利用者もいる等症状はそれぞれ異なるものの、「自分を大切にしてもらっている」感を持ってもらえるよう職員は配慮しており、今後はユマニチュードを習得の予定で、「その人らしさを取り戻す」取組みに期待が寄せられています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、やりたいことや行きたいところ、食べたいものなど、本人の思いや希望を聞き、出来るだけ希望に添えるように努めています。自己決定が難しい方も生活歴や質問を使い分けることで、出来る限り希望の表出が出来る工夫をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団生活の中にあっても、食事や入浴、その他日常生活全般に於いて業務優先にならないように心掛け、一人ひとりのペースに合わせて、やりたいことが出来るよう支援しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように服を選んでもらったり、化粧を希望する方には化粧をしてもらったりしています。月に1回、美容師さんが訪問してくれています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、季節を感じられるような食事を提供したり、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や調理、片付けをしています。	食事は毎日の大きな楽しみとして、例えば節分には「鬼オムライス」を用意するなど、目で楽しみ、話題で場に笑顔が生れる献立が提供されています。庭の柿をもちで柿ジャムをつくるなど、利用者が参加できる調理レクもあります。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確認できるよう表を活用しています。一人ひとりの状態や力、習慣に応じて、食事の形態を変えたり、食欲のない方には食べられそうなものを提供したりもします。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしています。義歯は清潔が保てるよう毎日洗浄剤を使用し除菌しています。また、デンタルサポートさんによる定期的な往診により、必要な歯科治療が受けられる体制が築かれています。		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの力や排泄のパターンを把握し、トイレでの排泄や排泄の自立に向け、声掛けや誘導、介助方法についても常に検討し、羞恥心にも気を付けて支援をしています。	2人での介助が必要な利用者が2名いますが、立ち上がりの訓練も兼ねているとの考えもあり、またさまざまな感覚・意識、そして動作が複雑に絡み合っ成り立つ排泄行動は生活そのもののリハビリとして、励行しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響を理解し、出来るだけ直ぐに下剤に頼ることなく、水分補給や飲食物の工夫、運動への働きかけ等を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一定の入浴時間はあるものの、入浴のタイミングは声掛けや手法を工夫し、出来るだけ本人の気持ちに添えるようにしています。また、入浴を楽しめるように、音楽が好きな方には音楽をかけたり、入浴剤を使用してリラックス効果を増したりもしています。	拒否の強い人もいますが、清潔保持の観点から週2回を目安に、できるだけ穏やかに入浴タイムを過ごせるよう、浴剤やBGMに配慮しています。また冬季は乾燥が強いため、ベビーオイルなど本人の好みのクリームを塗ることも日課としています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、夜間の就寝時も空調や照明、入床のタイミングは本人に合わせています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の一覧表を作り、一人ひとりが使用している薬の目的や用法や用量について理解するようにしています。また服薬の際には誤薬が無いように、職員同士声を出して名前と服薬内容に間違いが無いように努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時や面会の際ご家族から生活歴を聞き、その方の持つ力を活かした日々の役割や嗜好品、楽しみ事など、ケース発表会をすることで、担当職員だけでなく、職員が情報共有し、その人に合った支援ができるよう努めています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、施設の外周散歩などに出かけられるよう努めています。コロナ禍は行えていませんでしたが、少しずつ以前のように、ドライブや祭り等、個別外出で本人の行きたいところや家族との外出を楽しめるように支援していくよう努めています。	散歩は天候がよければ毎日の人もいますが、概ね本人の意向を重視していて頻度はまちまちで、また室内散歩で足上げ訓練に励む人もいます。コロナ禍でオープンな外出はできないものの、コスモス畑の散策といった「人に会わない」お出かけを実施しています。	



## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金を持つことの大切さを理解して、現金を持つことを希望する方には、ご家族とも相談し、少額の現金を所持するようにしています。現金の使用に関しては買い物の際など、好きなものを選んでもらい、後に立替金としてご家族に請求しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	時間帯にもよりますが、希望があれば、職員がお手伝いして電話を掛ける事が出来ます。年賀状など、手紙のやり取りは職員が手伝えることもありますが、出来るだけ本人に書いていただいています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	平屋でゆったりとしたリビングには自然の光が入り、常に季節を感じる中庭を眺めることが出来るようになっています。心地よく季節を感じてもらうように花を飾ったり、掲示物にも工夫を凝らしています。	空気清浄機も設置され、コロナ禍以前から掃除には消毒液が使われ、また換気も隙間を常時つくるようにしており、衛生環境の整備が成されています。野菜の水やりも心とむ習慣として定着し、サニーレタスや玉葱など収穫の喜びを食卓で分かち合う日もあります。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中でも十分な広さのある廊下やクリエイティブスペースには籐椅子などが置かれ独りになれたり、日の当たる廊下では気の合った利用者同士で日向ぼっこをしながら談笑したりと思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものを活かした配置を考えたり、女性の方には洋服を選び易いよう見えるところに並べる等、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしています	入居当初から家族写真を居室に飾る人もいますが、最近ケース会議を通じて若い頃の写真が家族から届いた人もいます。車いすが必要な人は7名おり、居室担当者を中心に動線を再検討して家具の位置を変更した例もあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように、表札や目印をつけたり、手すりや感知照明など安全にも考慮した工夫がされています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2297100253	
法人名	社会福祉法人 県民厚生会	
事業所名	グループホームきらら浜松 (南ホーム)	
所在地	静岡県浜松市南区楊子町218	
自己評価作成日	令和4年10月31日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2019_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2297100253-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2019_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2297100253-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室	
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A	
訪問調査日	令和4年11月20日	

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

本年度は、正職員一人一人が担当する利用者様の生活歴を再度収集し、パーソンセンタードケアの実現に向けて『その人の望む暮らしって何だろう』『今まで大切にしてきたことって何』『叶えてあげてい事は何』など、職員の利用者様に対する思いを“ケース発表会”と題して発表してもらい、グループホームの職員全員で思いの共有を図りました。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

野菜の水やりも心とむ習慣として定着し、サニーレタスや玉葱、サツマイモ、里芋など収穫の喜びを食卓で分かち合う日もあり、穏やかな暮らしが続く事業所です。新任の管理者は一職員としてこれまでもケアに従事してきており、利用者のことも職員のことも理解していて、外出の下見には休日をつかって積極的に安全確認に努める人柄で、またデイサービスなど他の種別も統括する施設長の存在も大きく、安心な体制にあります。平均介護度が3.9と重度化に向かいつつある中であっても、パーソンセンタードケアに基づくケース発表を試みたり、今後はユマニチュードの学習も積む予定で、利用者を見つめ傍らに寄り添う取組みが光ります。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念は誰もが見える所に掲示されています。その意義を職員全員で共有し、笑顔あふれるホッとする我が家をめざしています。また、令和4年度初めに理念の実践に向けた目標を各自が立て、達成度と振り返りの面談も実施しています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍の中、今秋ようやく町内のお祭りが開催され、久しぶりに利用者様も参加し祭りを楽しむ姿が見られました。12月には子育て支援の交流も予定されている他、地域の防災訓練への参加も検討しています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ禍の為、認知症の人の理解や支援の方法の発信は出来ていませんが、きらら祭りの開催や、地域貢献活動を通じて地域の方々へ貢献する姿勢を常に持っています。11月25日には利用者様と一緒に地域の草刈りへの参加も計画しています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	通常は2ヶ月に1度、コロナ禍に於いて開催を見送った月も文章等で報告・意見照会を行い議事録を作成しています。コロナ過で面会ができない中での写真送付など、会議でいただいた意見を活かせるようにしています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	役所の方の運営推進委員会の参加が見送られることが多いため、日頃の疑問や介護保険のことなど、分からない事は随時区役所の担当者様に連絡してアドバイスして頂いています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	委員会の設置の他、勉強会や資料配布により身体拘束が及ぼす影響を学んでいます。業務の中で、拘束だと感じたことは上司に報告・相談しています。玄関の施錠は日中に時間を決めて開錠しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については委員会設置の他、何度も勉強や話し合いの場を持ち、動画視聴も行うなど、不適切を注意しあえる環境が大事であることを確認し合い、職員全員虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めています		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度の資料を配布するなどして、成年後見制度や日常生活自立支援事業について詳しく知る機会を持てるようにしています。詳しく知りたい場合は、DVDの貸し出しも準備しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項の説明を行い、少しでも不安な気持ちが解消されるように、丁寧に疑問に応えながら納得していただけるように対応しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に1回アンケートを実施し、結果はご家族に郵送してお知らせしています。玄関に意見箱を設置し、出来る限り利用者様、ご家族様からの要望とりいれ、運営に反映させる努力をしています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年1回の意向調査が実施され、意見を聞いてもらっています。また希望者には施設長と直接面談する機会も設けてもらっています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者会議や安全衛生委員会を中心に残業や有給の取得状況を確認し、就業環境整備に努めています。3施設の共同決定委員会が集まる際には、職員からの意見を提案しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本年度は正職員全員何らかの研修を受けるよう計画を立て、会議の場で他の職員にフィードバックするなどして、介護の質を高めるよう取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会の会員となり、同業者と交流する取り組みをしています。コロナ禍で集合研修は少ないもののリモート研修においても、グループワーク等で意見交換する機会があります。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人・ご家族と話し合い、不安なことや希望を聞かせていただき、どの様にしたらご本人に安心していただけるか提案することで、信頼できる関係作りに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス導入前から出来るだけご本人・ご家族の要望を聞き、不安なく過ごせるケアプラン作成に繋げ、信頼関係を構築しています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入時、ご本人の発した言葉の真意を見極め、本当に必要とされるサービスを提供できるプランを作成・実践に繋げています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に食事を作ったり、買い物に出掛けるなど暮らしを共にする者同士の関係を築いています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本年度は新型コロナウイルスの影響もあり行えていない事もありますが、出来るだけ、ご家族にも行事参加していただいたり、面会等で本人と家族と一緒に過ごせる時間を作り、絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出・外泊の機会を持ち、近隣の祭りでは、身内の方に会いに行くなど、本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	介護度や認知症によりトラブルになりそうなこともあります。利用者同士の関係や性格を把握し、職員が関わることで、利用者様同士の良好な関係作りに努めています。		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス修了から数年経っても、近隣に住むご家族は経った今でも古新聞を持ってきてくださったり、知り合いの介護相談にみえて下さるなど、これまでの関係性を大切にしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本年度は担当職員が中心となり、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努める為、生活歴の収集から初めて、その方の“望む暮らし”や“叶えてあげたいこと”についてケース発表会を行いました。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本年度は改めて生活歴を収集したことで、今まで知らなかった利用者様の新たな一面を知ることができ、一人ひとりの暮らしについて思いを馳せる事が出来ました		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の中で、一人ひとりの仕草や言葉などから、心身状態の把握に努め、生活のペースや出来ることを個人に合わせられるよう、ユニット会議で情報共有しています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の課題とケアの在り方をユニット会議で話し合い、生活に活かせるようなプランを提案させて頂き、本人・家族・担当職員や、必要な関係者と話し合い現状に即した計画を作成しています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケース記録に記録し、カンファレンスにより問題点や望む暮らしとして職員間で話し合い。実践や介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様がやりたいと感じたことをどうしたら実現できるかを考え、実現することを喜び合える事業所・職員であるよう取り組んでいます		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍に於いても、日常を豊かに過ごせるよう、知人からの絵手紙と一緒に鑑賞したり、家族や知人の面会など、協力を得られる社会資源との関係を常に築いています。地域の活動行事に参加したり、12月には久しぶりに子育て支援の方のを受け入れていきま		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人及びご家族等の希望をもとに、かかりつけ医を決定し、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、月2回の往診の他、常に適切な医療を受けられるように支援しています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護と契約し、24時間体制で連絡が取れるようになっていて、急ぐ場合などは他事業所の看護師に相談できるようになっています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	コロナ禍になってからは入院先に様子を見に行くことが出来ませんが、出来るだけ早期に情報収集し、早めの退院を相談するようにしています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化指針や見取りに関する指針について説明する他、状態の変化に合わせて、ご家族と話し合いを行い、事業所で出来ることと出来ない事を十分に説明しながら、グループホームらしい温かみのあるケアを提供するよう取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命処置の訓練やAEDの使用方法を学び、利用者の急変や事故発生時に備えて、マニュアル・傷病者カードを作成し、緊急時に誰もが対応できる工夫をしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間の防災訓練の計画を立て、様々な想定による防災訓練を行っています。昨年度は職員のみでしたが、本年度は町内の防災訓練に委員や利用者様と参加し、地域の方とお互い協力し合える関係を築けるよう努めています、		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念にもあるように一人ひとりの人生を大切に、思いを尊重し、「歩けますか?」「起きられますか?」のように自ら選んでいただけるような声掛けを心掛けています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、やりたいことや行きたいところ、食べたいものなど、本人の思いや希望を聞き、出来るだけ希望に添えるように努めています。自己決定が難しい方も生活歴や質問を使い分けることで、出来る限り希望の表出が出来る工夫をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団生活の中にあっても、食事や入浴、その他日常生活全般に於いて業務優先にならないように心掛け、一人ひとりのペースに合わせて、やりたいことが出来るよう支援しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように服を選んでもらったり、化粧を希望する方には化粧をしてもらったりしています。月に1回、美容師さんが訪問してくれています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、季節を感じられるような食事を提供したり、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や調理、片付けをしています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確認できるよう表を活用しています。一人ひとりの状態や力、習慣に応じて、食事の形態を変えたり、食欲のない方には食べられそうなものを提供したりもします。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしています。義歯は清潔が保てるよう毎日洗浄剤を使用し除菌しています。また、デンタルサポートさんによる定期的な往診により、必要な歯科治療が受けられる体制が築かれています。		



## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの力や排泄のパターンを把握し、トイレでの排泄や排泄の自立に向け、声掛けや誘導、介助方法についても常に検討し、羞恥心にも気を付けて支援をしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響を理解し、出来るだけ直ぐに下剤に頼ることなく、水分補給や飲食物の工夫、運動への働きかけ等を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一定の入浴時間はあるものの、入浴のタイミングは声掛けや手法を工夫し、出来るだけ本人の気持ちに添えるようにしています。また、入浴を楽しめるように、音楽が好きな方には音楽をかけたり、入浴剤を使用してリラックス効果を増したりもしています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、夜間の就寝時も空調や照明、入床のタイミングは本人に合わせています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の一覧表を作り、一人ひとりが使用している薬の目的や用法や用量について理解できるようにしています。また服薬の際には誤薬が無いように、職員同士声を出して名前と服薬内容に間違いが無いように努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時や面会の際ご家族から生活歴を聞き、その方の持つ力を活かした日々の役割や嗜好品、楽しみ事など、ケース発表会をすることで、担当職員だけでなく、職員が情報共有し、その人に合った支援ができるよう努めています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、施設の外周散歩などに出かけられるよう努めています。コロナ禍は行えていませんでしたが、少しずつ以前のように、ドライブや祭り等、個別外出で本人の行きたいところや家族との外出を楽しめるように支援していくよう努めています。		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金を持つことの大切さを理解して、現金を持つことを希望する方には、ご家族とも相談し、少額の現金を所持するようにしています。現金の使用に関しては買い物の際など、好きなものを選んでもらい、後に立替金としてご家族に請求しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	時間帯にもよりますが、希望があれば、職員がお手伝いして電話を掛ける事が出来ます。年賀状など、手紙のやり取りは職員が手伝えることありますが、出来るだけ本人に書いていただいています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	平屋でゆったりとしたリビングには自然の光が入り、常に季節を感じる中庭を眺めることが出来るようになっています。心地よく季節を感じてもらうように花を飾ったり、掲示物にも工夫を凝らしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中でも十分な広さのある廊下やクリエイティブスペースには籐椅子などが置かれ独りになれたり、日の当たる廊下では気の合った利用者同士で日向ぼっこをしながら談笑したりと思いつきに過ごせるような居場所の工夫をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのもを活かした配置を考えたり、女性の方には洋服を選び易いよう見るところに並べる等、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように、表札や目印をつけたり、手すりや感知照明など安全にも考慮した工夫がされています。		